



「ピザーラ地産地消プロジェクト」活動中!!

ピザーラでは全国各地で採れた新鮮な食材や、その土地ならではの
特産品を使用した地産地消ピザを、地元の皆さまと連携しながら商品開発を行い、
キッチンカーの移動販売「ピザーラキャラバン」を中心に日々販売しています。
これからもピザーラは、ブランドコンセプトである「JAPAN STANDARD」を
掲げながら、各地域に密着した活動を行ってまいります。



地産地消プロジェクト 特設ページ

過去に販売した全国各地のご当地限定ピザを紹介しています。
また、プロジェクトにご興味のある自治体・団体、
企業・地域の皆さまからのお問い合わせもお待ちしております。



今日も全国で稼働中！
ピザーラキャラバン
開催スケジュールはこちら

こだわりのおいしさ、楽しさ、感動をすべての人に!!



企業の裏側、ぜんぶ見せます

会社案内、ブランド紹介はこちら



フォーシーズ公式 no+e

宅配ピザのピザーラ、本格グルメバーガーのクア・アイナ、
モダンフレンチの殿堂 ジョエル・ロブションなど、全 60
ブランドの裏側をお見せします。



フォーシーズ公式サイト 随時更新中

経営理念「こだわりのおいしさ、楽しさ、感動をすべての人に!!」
をもとに、全 60 ブランドを運営するフォーシーズのすべてを詰め
込んだコーポレートサイトです。

TOKYO HEADLINE

Free news is good news. since 2002 <https://www.tokyoheadline.com> 特別号 2025 August



The Children's Conference of the Future in Support of the United Nations

国連を支える世界こども未来会議

SDGsベースコミュニケーションプロジェクト
SDGs Peace Communication Project



FUTURE SUMMIT

世界をつなぐ、未来をつなぐ

「国連を支える世界こども未来会議」

8/6、7 万博会場内EXPO メッセ

『TOKYO HEADLINE』は、株式会社ヘッドラインが、年4回首都圏エリアに、無料で発行しているニュースメディアです。
株式会社ヘッドライン 発行人：一木広治 編集長：本吉英人 デザイン：高久仁 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 2-9-6 パルビゾン3 403号室
問い合わせ先：【代表】03-5770-7161【編集】03-5770-7162【広告】03-5770-7161【FAX】03-5770-7163 / ads@tokyoheadline.com【流通】03-5770-7161 / dis@tokyoheadline.com

国連を支える 世界こども未来会議について

About “The Children’s Conference of the Future in Support of the United Nations”

The Children’s Conference of the Future in Support of the United Nations

国連を支える世界こども未来会議

SDGsピースコミュニケーションプロジェクト
SDGs Peace Communication Project

こどもたちによる「ピースコミュニケーション宣言」を 2028年に国連本部で開催の「将来世代に関する宣言」ハイレベル会合に向けて

ピースコミュニケーション宣言とは

地球温暖化や生態系の危機、戦争、災害、貧困や格差、不平等、人権問題など。数えればきりがなほこの世界には未来への課題がたくさんあります。現代はまた、最先端の科学技術が人々の幸福にどうつながるかも問われてきています。そんな時代だからこそ、未来を担うこどもたちが、国や民族、宗教、文化、ジェンダーなどの違いを超え、「持続可能な開発目標（SDGs）」に描かれている、誰一人取り残されない、平和で豊かな世界を実現していくための具体的なアイデアについて表現し合い、分かち合う「ピースコミュニケーション」の機会を作り、自らの力で世界を変革していく後押しをしたい。そんな想いから、私たちは「ピースコミュニケーション財団」を設立しました。

折しも、ニューヨークの国連本部では、2024年9月、「国連未来サミット（Summit of the Future）」が開催され、国連に加盟する国々の首脳たちが「未来のための約束（Pact for the Future）」に合意。2030年を期限とするSDGsの達成のための努力の加速化や、

2030年のさらにその先までを見通し、その世界をより平和で豊かなものにしていくために現在の私たちの世代が、いま、取るべき行動についての約束を取りまとめました。

首脳たちによる「未来のための約束」のなかで最も注目された内容の一つは、史上初となる「将来世代に関する宣言（Declaration of the Future Generations）」を打ち出したことでした。この宣言のなかで、各国の首脳らは、現代世代の若者やこどもたちこそが将来に向けた「ポジティブな変化の不可欠な担い手」であり、平和と安全、持続可能な開発、人権に向けた若い世代の大切な貢献を歓迎すること、そして、いまの時代の若者やこどもたちの必要や利益とバランスの取れたかたちで、まだ見ぬ将来世代の必要や利益も守る、「世代をまたいで」の団結（intergenerational solidarity）を促すことの重要性を取り上げています。

では、現代世代の若者やこどもたちには、自分たちが作る社会と地球を将来世代に引き継ぐため、どんなアイデアや行動についての考えがあるのでしょうか。

私たち「ピースコミュニケーション財団」

としては、今回、2025年大阪・関西万博において「国連を支える世界こども未来会議」の特別版として「Future Summit みらい総会」を主催するにあたり、日本と世界のこどもたちから自分たちの目指す平和と将来世代の平和をつなぐため、一人ひとりが具体的などんな行動を取ることを約束するのか、それをこどもたちによる「ピースコミュニケーション宣言」として集めることにいたしました。これらの宣言は、私たちの財団のサポーターを通じ、国連当局者や各国・各界のリーダーに伝達し、また、2028年に国連本部で開催が予定されている「将来世代に関する宣言」ハイレベル会合に向けたこどもたちからの提案として活用してもらいたいと願っています。

ぜひ一人でも多くのこどもたちから、自分のまわりのリアルな社会の課題の解決はもちろん、世界の人々、さらには私たちが暮らす地球までも視野に入れ、より平和で持続可能で豊かな未来を築いていくために自分にはどんなアイデアや提案があり、みんなと一緒にどんな行動を取っていききたいのかを「ピースコミュニケーション宣言」を通じて世界に広げて活動をしていきたいと思います。

世界のこどもたちが集まり、SDGsをテーマに平和で豊かな世界について表現し、語り合う“ピースコミュニケーション”の場

日本が呼びかける世界視点で社会課題について考え、
未来のサーバント・リーダー育成へ

世界をつなぐグローバルネットワーク国際会議 ▶世界視点の考え方

2030年に向けてSDGs ▶社会課題

ワークショップ



第1回2021.3.27

音楽セッション



MIYAVIとこどもたちのライブセッション

アイデアの具現化



SDGsピースコミュニケーションシティ



国連本部ニュース・メディア部長イーアン・フィリップス氏

2025年にSDGsをテーマに開催される大阪・関西万博「平和と人権 ウィーク」での開催に向けて推進していきます！

2021年 第1回 こども未来国連会議を開催（3.27）
2022年 第2回 こども未来国連会議を開催（3.26）
2023年 第3回 国連を支える世界こども未来会議（3.19）
NY国連本部で発信イベント（7.19）
こども家庭庁プロジェクトと連携
広島G7との連携
2024年 第4回 国連を支える世界こども未来会議を開催（3.24）
東京都共催開催
マイナビキッズアンバサダー NY国連本部訪問（7.17）
NY国連本部ハイレベル政治フォーラム

2025年 第5回 国連を支える世界こども未来会議を開催（3.23）
東京都共催
大阪・関西万博でFUTURE SUMMIT みらい総会を開催
平和と人権Week／こども家庭庁省庁催事

2026年～ 第6回以降、世界都市TOKYOでの開催を中心に計画
2028年 国連本部「将来世代に関する宣言」ハイレベル会合に向けて

一般財団法人ピースコミュニケーション財団について

About The Peace Communication Foundation

【設立】2022年8月17日

【目的】当財団は2020東京オリンピック・パラリンピック公認プログラムとしてスタートし、2020年以降の日本の活性化を目的とした、内閣府認証事業「BEYOND 2020 NEXT FORUM」というプロジェクトから創出され、次世代の人材育成とコミュニケーションによる社会課題の解決に取り組みます。

【Establishment】August 17, 2022

【Goal】The Peace Communication Foundation was grown out of the Peace Communication Forum, which was a project created as part of the BEYOND 2020 NEXT FORUM (a project certified by the Cabinet Office) and launched as an official program of the Tokyo 2020 Olympic and Paralympic Games, aiming to revitalize Japan after 2020. The Foundation is dedicated to developing the next generation of human resources and solving social issues through communication. Additionally, new projects, including “The Children’s Conference of the Future in Support of the United Nations” series, which focuses on children who will play a crucial role in achieving the SDGs by 2030, have been launched. With the goal of continuing these activities, the Peace Communication Foundation was established in 2022.

そして、2030年に向けてSDGsの達成に重要な役割を担うこどもたちを対象にした、「国連を支える世界こども未来会議」をはじめとする新たなプロジェクトも誕生しました。こうした活動を継続することを目的として、2022年にピースコミュニケーション財団が設立されました。

8/6

広島平和式典／原爆投下80年、終戦後80年 ピースコミュニケーション DAY

Program	
10:30～	オープニング
11:00～	ワークショップ①：森永製菓株式会社 「森永製菓こども未来会議」 テーマ：未来のお菓子
13:00～	休憩・転換
14:30～	ワークショップ②：野村ホールディングス株式会社 「野村ホールディングスこども未来会議」 テーマ：未来のお金
16:30～	休憩・転換
17:00～	「ピースコミュニケーション宣言」 世界のこどもによる平和と人権についての提言書を 国連本部に提出するセレモニー
17:30～	転換
17:40～	ピースコミュニケーションステージ 平和を願う音楽のセッション
18:30～	エンディング

※都度休憩が入ります。プログラム内容、及び時間は変更となる場合がありますことをご了承下さい。当日の状況により、最終終了時間が延長される場合がございます。

【ブース紹介】体験プログラムやゲームなどが楽しめます♪



ワークショップ①：森永製菓株式会社

「森永製菓こども未来会議」テーマ：未来のお菓子
世界中のみんなが笑顔になれるお菓子を考えよう

世界中のみんなが笑顔になるお菓子ってどんなお菓子だろう？

世界中の文化や多様性を取り入れ、誰もが嬉しくなる五感で楽しむ未来のお菓子を考えます。創る楽しさや食べる幸せを広げながら、自分たちの手で、まだ見ぬ新しいお菓子の形を描いてみましょう！

＜出演者＞
黒谷友香（俳優）、平原依文（HI合同会社代表）、所千春（早稲田大学理工学術員教授／日本学術会議会員）



黒谷友香
（俳優）



平原依文
（HI合同会社代表）

ワークショップ②：野村ホールディングス株式会社

「野村ホールディングスこども未来会議」テーマ：未来のお金
未来を良くするために、お金でできることを考えよう

豊かな海や山を守ること、住みやすい町をつくること、国と国の不平等をなくすこと…。みなさんが大人になるころには、どんな未来を実現したいですか？ 未来をつくっていくために、必ず必要になるのがお金です。私たちの身近にある「お金」が世の中で果たす役割を学び、身近なことから世界のことまで、より良い未来に向けて「新しいお金の使い方」を考えてみましょう。



加藤勝信



工藤公康

＜出演者＞星野俊也（元国連大使／国連システム合同監査団監査官／大阪大学大学院国際公共政策研究科教授／大阪大学副学長）、佐藤真希子（株式会社iSGSインベストメントワークス代表取締役）、黒谷友香（俳優）、平原依文（HI合同会社代表）、加藤勝信（財務大臣）、工藤公康（ピースコミュニケーション財団 理事／元プロ野球選手・監督／野球解説・評論家）

「ピースコミュニケーション宣言」

世界のこどもによる平和と人権についての提言書を国連本部に提出するセレモニー

8月6日は広島平和記念日。終戦80年の節目として「平和」をテーマに、世界のこどもによるセレモニーを実施。

事前に国内・世界のこどもが在籍するUNIS（国連インターナショナルスクール）から集めた平和に向けてのプロミスメッセージをもとに、平和と人権についての提言をアントニオ・グテーレス国連事務総長代理として参加する国連児童基金（UNICEF）東京事務所代表サウル・ゲレーロ・オテイス事務総長に提出する。



ピースコミュニケーションステージ
平和を願う音楽のセッション

＜出演者＞MIYAVI（アーティスト）、遠山歌子（歌手）



MIYAVI（アーティスト）

8/7 こども未来 DAY

Program	
9:30～	オープニング
9:45～	休憩・転換
10:00～	ワークショップ③：株式会社マイナビ 「マイナビこども未来会議」 テーマ：未来の仕事
12:00～	休憩・転換
13:30～	DEC エンタメステージ 世界の人々と楽しめる未来のエンターテインメントを体験
15:30～	休憩・転換
16:00～	「NTT みらい作戦会議」 DE & I 未来ステージ
18:00～	エンディング

※都度休憩が入ります。プログラム内容、及び時間は変更となる場合がありますことをご了承下さい。当日の状況により、最終終了時間が延長される場合がございます。

【ブース紹介】体験プログラムやゲームなどが楽しめます♪



ワークショップ③：株式会社マイナビ 「マイナビこども未来会議」 テーマ：未来の仕事 まだない未来の仕事を考えよう

α世代のみなさんが大人になる10年後、20年後、世界にはどんな仕事が必要になるでしょうか？ 気候変動、教育格差、社会の多様性、AIの進化。SDGsを手がかりに現代の課題を学び、そこから未来の仕事を考えます。みなさんで考えた『未来の仕事』で世界中の人々を幸せにする可能性を描きましょう。



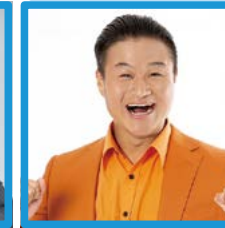
朝日透
(早稲田大学教授)



益若つばさ
(モデル/クリエイター/女優)



古坂大魔王
(芸人/プロデューサー)



ティモンディ高岸
(お笑い芸人)

DEC エンタメステージ 世界の人々と楽しめる未来のエンターテインメントを体験

誰もが発信するデジタル社会で、エンターテインメントの形は大きく変化した。
国や文化、環境の垣根を超えて、世界の人々と楽しめる遊び方にはどんなものがあるんだろう。
新しいコミュニケーションって？ コンテンツって？ SNSって？
世界の人とのクリエイティブのタネを育む新たなエンターテインメントと一緒に探そう。



きゃりーぱみゅぱみゅ(アーティスト)

「NTT みらい作戦会議」 DE&I 未来ステージ NTTによる、DE & I なエンターテインメントステージ



武藤将胤（一般社団法人 WITH ALS 代表理事／COMMUNICATION CREATOR／EYE VDJ MASA）

<出演者>
武藤将胤（一般社団法人 WITH ALS 代表理事／COMMUNICATION CREATOR／EYE VDJ MASA）、古坂大魔王（芸人／ロデューサー）and more...

「国連を支える世界こども未来会議」をサポートしてくださっている方々

岩屋毅 外務大臣

この度、「国連を支える世界こども未来会議 FUTURE SUMMIT みらい総会」が開催されることを大変嬉しく思います。

日本は、SDGs達成に向け、ぶれることなく取り組んできており、今年は、その取り組みを「自発的国家レビュー」という形で国連に報告しました。報告書では、大阪・関西万博について、SDGsやウェルビーイングが実現された世界を一足先に体験し、一人一人に何ができるのかを考えるヒントを見つけることができる場として紹介しています。

「いのち」をテーマにした大阪・関西万博において、未来を担うこどもたちが、平和について考え、望ましい未来につき議論することは、大変意義深いと考えています。

未来への希望に満ちた、素晴らしい会議となることを心より期待しています。



写真提供：外務省

小池百合子 東京都知事

皆さん、こんにちは。東京都知事の小池百合子です。

「国連を支える世界こども未来会議」が大阪・関西万博で開催されることを、心よりお慶び申し上げます。

今年3月に東京で行われた「国連を支える世界こども未来会議」は、平和や気候変動などSDGsに関するテーマを巡り、こどもたちが多様な考え方を育む素晴らしい機会となりました。

今回の会議でも、SDGsをテーマとしたワークショップが行われ、東京からも多くのこどもたちが参加します。

こどもたちは次の時代の主役です。豊かな発想力と想像力に基づくこどもたちの意見は、大きな気付きをもたらし、明るい未来を切り拓くこれ以上ない力となります。

持続可能な社会の実現に向け、共に歩んでまいりましょう。



国会議員サポーターズクラブリーダー

加藤勝信 財務大臣／衆議院議員

「国連を支える世界こども未来会議」国会議員サポーターズクラブのリーダーを務めている、加藤勝信です。大阪・関西万博にて「国連を支える世界こども未来会議 FUTURE SUMMIT みらい総会」の開催、誠におめでとうございます。

SDGsの達成期限は2030年となっていますが、2030年代は、皆さんが社会人となり、各々の分野で活躍され、社会を支えている時代です。皆さんが、この会議を通じて、世界の同世代の人たちとコミュニケーションを交わし、平和な未来について発表していくことは大変意義深いと考えます。

今回のテーマである「世界中のみんなが笑顔になれるお菓子」、「未来を良くするためにお金でできること」、「まだない未来の仕事」について、皆さんの考え出されたアイデアが明るい未来をきりひろくものになると思います。私たち大人も、今後国内で開催を予定しているこども未来会議を通じて、皆さんのチカラになれるよう協力していきます。



三原じゅん子 こども政策担当大臣

皆さん、こんにちは。こども政策担当大臣の三原じゅん子です。この度、大阪・関西万博において「国連を支える世界こども未来会議 FUTURE SUMMIT みらい総会」が開催されることをお慶び申し上げます。また、イベントの実現に向けた関係者の皆様の御尽力に心から敬意を表します。

今回は、「こどもの人権、こどもまんなか社会に向けて」を掲げ、日本と世界のこどもたちが、様々なテーマで、未来をよくするアイデアを議論・発表するほか、世界の平和に向けた「ピースコミュニケーション宣言」が行われると聞いています。

こども家庭庁は、全てのこども・若者が自らの意見を表明し、社会に参画できる「こどもまんなか社会」の実現を目指しています。

今回の取り組みが、皆さんにとって、未来に向け、様々なテーマを知り、考え、伝える、素晴らしい機会となることを心から期待しています。



国会議員サポーターズクラブ

井上信治 (衆議院議員、元国際博覧会担当大臣)
長島昭久 (衆議院議員、内閣総理大臣補佐官)
平将明 (衆議院議員、デジタル大臣)
島尻安伊子 (衆議院議員、元内閣府特命担当大臣)
青木一彦 (参議院議員、内閣官房副長官)
浅尾慶一郎 (参議院議員、環境大臣)
若宮健嗣 (前衆議院議員、防衛大臣補佐官)
中川郁子 (前衆議院議員)

丸川珠代 (前参議院議員、元環境大臣、元東京オリンピック・パラリンピック競技大会担当大臣)
＜幹事＞
宮崎政久 (衆議院議員、前厚生労働副大臣)
鈴木隼人 (衆議院議員)
中山泰秀 (元外務副大臣、元防衛副大臣兼内閣府副大臣)

中山泰秀 元防衛副大臣兼内閣府副大臣／元外務副大臣／衆議院前議員

1970年、大阪万博の年に、私は故郷・大阪で生まれました。そして今、2025年の大阪・関西万博で、「国連を支える世界こども未来会議」を主催する財団の発起人・理事として関われることに、深いご縁と使命感を感じています。

幼い頃、私は“月に行くにはどうすればいいか”を本気で考え、ロケットを描きました。母に「ロケットは高い」と言われると、今度は釘と板で“月までの階段”を作ればいいと、設計図を描きました。けれど母は言いました。「宇宙には空気がないのよ」「地球は回っているのよ」——その瞬間、夢は音もなく崩れました。

けれど私は知ったのです。こどもには、現実を知らないからこそ、限らない想像力がある。だからこそ彼らの言葉は、世界を動かす真理を含んでいる。

こどもたちが大阪に集い、SDGsを軸に未来を語ります。偏見のない議論、豊かな発想、そして純粋な“平和への意志”。それは、時に大人たちの会議を凌ぐ力を持つのではないのでしょうか。私にはひとつの夢があります。それは、日本に「国連アジア太平洋本部」を創設すること。このこどもたちの声が、現実を動かす礎となり、やがて国連の新たな拠点を生む未来に繋がっていく——私はそう信じています。

大阪から、世界へ。未来は、こどもたちの手から始まります。



高際みゆき 豊島区長

この度は、大阪・関西万博での「国連を支える世界こども未来会議 FUTURE SUMMIT みらい総会」において、豊島区のこどもたちが貴重な経験をさせていただけること、大変嬉しく思います。

豊島区では、区民の声を丁寧を受け止め、積極的に区政運営に反映する取り組みを進めています。特に、未来を担うこどもたちの声をたくさん聴くことを目的に、こどもが手に取りやすいよう、かわいいデザインやキャラクターが描かれた「こどもレター」を導入しました。約2年間で700件以上の意見や悩みが寄せられ、学校や公園など身近な場所でこどもたちの声が反映されています。

参加されている皆さんには、これまでディスカッションしてきたアイデアを、この大舞台で思う存分、世界に向けて発信してほしいと思います。

この会議が皆さんの未来を輝かせ、実り多いものになることを祈念しています。

持続発展する社会の実現に向け、共に考え、行動し、より良い世界を一緒に築いていきましょう。



山田加奈子 北区長

2025年、最新の技術と世界中の様々な文化が集まる大阪・関西万博で、皆さんは「未来社会」にどんなイメージを思い浮かべますか？

今から150年以上前の1867年、フランス・パリで開催されていた万国博覧会で、盛り上がる会場と世界中からの出品に感動していたのは、昨年から一万円札に描かれた東京・北区ゆかりの渋沢栄一さんです。

渋沢さんは、みんなが幸せで国が豊かになる「未来」を理想に、社会福祉や国際平和の推進にも力を尽くしました。国連サミットでSDGsが採択される100年前から、未来を見据えて「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現をめざしていたのです。

皆さんが、日本をリードした渋沢さんのように、ここ大阪・関西万博の場で、たくさんの人と出会い話し合って知恵を集め、世界の誰もが笑顔になれる「未来社会」を創るためのアイデアを発信してくれることを楽しみにしています。



森澤恭子 品川区長

気候変動、貧困、紛争、ジェンダーギャップなど人類は数多くの課題に直面しています。このままでは「つづかない世界」を「つづく世界」に変えていくため、みんなで解決策を探求していかななくてはなりません。

品川区もSDGs未来都市への選定やジェンダー平等の条例制定をきっかけに、誰もが自分らしく生きていけるウェルビーイングな社会の実現に向けた取り組みを進めています。

SDGsのゴールである2030年以降の世界は、みなさんが主役です。

現代に生きるわたしたち、そして未来の地球に生きる人たち全員が、豊かで幸せに暮らすため、一人ひとりが行動を起こし、より良い未来を共につくっていきましょう。

この夢洲から世界へ向けて、未来へつなぐ、みなさんのアイデアを発信してください。



高橋勝浩 稲城市長

この度は、大阪・関西万博における「国連を支える世界こども未来会議 FUTURE SUMMIT みらい総会」の開催、誠におめでとうございます。未来を担うこどもたちが、「未来のお金」「未来の仕事」「未来のお菓子」について、自由な発想で議論することは、こどもたちの意見表明の場を提供する上で、大人にとっても極めて大きな意義を持つものと感じています。

稲城市では、緑豊かな自然環境を活かしながら、誰もが安心して暮らせる持続可能なまちづくりを進めています。自らの意志を表明し、順送りに次の世代へより良い環境を引き継ぐことは、自己肯定感やシビックプライドの醸成につながるものとなります。皆さんの新しい視点やアイデアが、未来をつくる大きな一歩となると信じています。

この未来会議が、新しい連帯と行動のきっかけとなり、世界中から集まるこどもたちが、より良い未来の創り手として輝かれることを心より願っています。この特別な機会を最大限に生かし、大いに学び、発信してください。皆さんのご活躍を心から応援しています。



徳元次人 豊見城市長

沖縄県豊見城市長・徳元次人です。

この度は、「国連を支える世界こども未来会議 FUTURE SUMMIT みらい総会」がExpo 2025大阪・関西万博で開催されることを、大変喜ばしく思います。

本会議は、SDGsの目標を軸に、こどもたちが様々な課題に向き合い、意見交換や経験を共有する貴重な機会です。昨年、豊見城市で開催した際には、こどもたちの純粋な発想と活気あふれる活動は、私たち大人に気づきと感動を与えてくれました。

2025年の大阪・関西万博での開催では、こどもたちの意見や活動に触れていただき、未来社会や平和について共に考え、多彩なプログラムを楽しんでいただければ幸いです。

今後、豊見城市をはじめ、日本各地での開催も予定されております。こどもたちの未来に向けた力強い活動に、引き続きご注目ください。



中野祐介 浜松市長

浜松市は、2018年に内閣府から「SDGs未来都市」に選定されました。市民や団体、企業の皆さんなど多様な方々と一緒になって、持続可能な地域づくりに取り組んでいます。また、2022年からは「住み続けられる未来の浜松市」をテーマに、「浜松市小学生アイデアコンテスト」を開催し、多くのアイデアをいただいています。

今回の「国連を支える世界こども未来会議 FUTURE SUMMIT みらい総会」には、昨年度のコンテストで最優秀賞を受賞した浜松市代表チームが参加しています。

みらい総会に参加する皆さんには、自分たちが住むまちに関心を持ちながら、様々な国の同世代の人たちと語り合い、理想の未来を考えてみてもらいたいです。

SDGsの達成に向けては、一人ひとりの身近な地域での取り組みが重要です。より良い未来の実現に向けて、自分たちができることから行動していきましょう。



澤井宏文 松原市長／万博首長連合会長

「国連を支える世界こども未来会議 FUTURE SUMMIT みらい総会」が開催されますことを心からお祝い申し上げます。

また、各地からお集まりの皆さんが、大阪・関西万博の会場において、語り合うことを、大変嬉しく思います。

世界には、気候変動、貧困、紛争など、様々な課題があります。しかし、皆さんの新しい視点、豊かな発想、そして「より良い未来を創りたい」という強い気持ちで、課題を解決する大きな力となります。

皆さんが異なる文化や背景を持つ仲間たちと意見を交換することで、新しい発見や素晴らしいアイデアが生まれることでしょう。

また、保護者の皆さんにおかれましても、こどもたちが世界の様々な課題について語り合う姿は頼もしく見えますと思います。この会議が、皆さんにとって貴重な経験となり、そして、ここでの出会いが今後の皆さんを支える大切な絆となることを心から期待しています。





「国連を支える世界こども未来会議」の代表がUNISを訪問（©Masahiro Noguchi）

「国連を支える世界こども未来会議」の キッズアンバサダーたちがUNISを訪問

一般財団法人ピースコミュニケーション財団が主催する「国連を支える世界こども未来会議」（以降、こども未来会議）の代表のこどもたち（マイナビキッズアンバサダー）が5月14日（現地時間）、米ニューヨーク市内にある「UNIS（国連インターナショナルスクール）」を訪問した。

国連を支える世界こども未来会議は、世界のこどもたちが集まり、SDGsを軸に平和で豊かな世界について語り合うピースコミュニケーションの場として、2019年に東京オリンピック・パラリンピック公認プログラムとしてスタート。2022年度からは国内各地で開催し、現在は、こども家庭庁・外務省・東京都が後援。2023年2月には国連からタイトルの認定を受け、同年7月からはキッズアンバサダーたちが国連本部を訪れ、事務総長へ親書を手渡し、日本国内で行った世界こども未来会議の決議をまとめたアイデアブックを国連本部に提出するセレモニーや世界中のこどもたちとのワークショップなどを行って



ピースコミュニケーション財団、国連日本政府代表部、UNISが3者協定

いる。

今年は5月15日にセレモニーとワークショップを開催。ピースコミュニケーション財団、国連日本政府代表部、UNISが3者協定を結んだことから、15日にピースコミュニケーション財団の一木広治代表理事、国連日本政府代表部の森尊俊公使、キッズアンバサダー



大阪・関西万博で行うみらい会議の3つのテーマを説明（©Masahiro Noguchi）

たちがUNISを訪問し、交流を持った。

開会の挨拶にてUNISのダン・ブレナー校長は「本日、皆さんが議論されるこの2つのテーマ（平和と気候変動）は、私たちの未来にとって極めて重要です。皆さんのアイデアを聞けることを楽しみにしています。また、私たち大人のことでなく、この取り組みを未来へと受け継いでいく学生たちの存在が大切です。日本からの学生の皆さんと、UNISの学生たちが交流し、協働する姿を見ることができて本当にうれしく思います。こうした国際的な協力こそが、世界を変える大きな力となるでしょう」と語った。

そしてピースコミュニケーション財団から、翌日の一連のイベントと8月6、7の両日に大阪・関西万博で開催される「国連を支える世界こども未来会議 FUTURE SUMMIT みらい総会」について説明。UNISの生徒たちに大阪で発表する世界のこどもたちからのピースコミュニケーション宣言と3つのテーマ（未来のお菓子＝森永製菓株式会社担当、未来のお金＝野村ホールディングス株式会社担当、未来の仕事＝株式会社マイナビ担当）のディスカッションへの参加を要請した。

その後、UNISの先生による翌日のセレモニーに向けた「平和」と「気候変動」の講義を



受け、UNISの生徒とキッズアンバサダーがグループになり「私たちの周りにはどのような暴力が存在しているか（平和）」「気候が変わることでどんなことが起こるか（気候変動）」などについてディスカッションを行った。

最後に、UNISの生徒とキッズアンバサダーがペアを組み、授業に参加した。

UNIS訪問を終えたキッズアンバサダーの佐藤さんは「歴史の授業を見学しました。自分の学校とは授業の進め方が違い、少し難しかったけど、とても楽しかった」、衣笠さんは「シェイクスピアの本を読んで演じる練習をしました。とても楽しかった」と感想を語っていた。



New York 国連本部訪問



「国連を支える世界こども未来会議」で米ニューヨークの国連本部に訪問するキッズアンバサダー（©Masahiro Noguchi）

国連を支える世界こども未来会議 ～プロジェクトイベント in New York 2025～

「平和」と「気候変動」をテーマに日米のこどもたちがディスカッション

一般財団法人ピースコミュニケーション財団が5月15日（日本時間16日）、米ニューヨークの国連本部で、通常は世界各国の代表部の会議が行われる会議場で「国連を支える世界こども未来会議～プロジェクトイベント in New York 2025～The Children's Conference of the Future in Support of the United Nations The Project Event in New York 2025」を開催した。

国連を支える世界こども未来会議は、世界のこどもたちが集まり、SDGsを軸に平和で豊かな世界について語り合うピースコミュニケーションの場として、2019年に東京オリンピック・パラリンピック公認プログラムとしてスタート。以降、毎年開催し2022年度からは国内各地でも開催。現在は、こども家庭庁・外務省・東京都が後援し、2023年2月には国連からタイトルの認定を受けている。

この日は「マイナビキッズアンバサダー」たちが3月に東京で開催した「第5回国連を支える世界こども未来会議」の議論の結論をまとめたアイデアブック、グテーレス国連事務総長のイラスト、グローバルコミュニケーション局マヘル・ナッサー氏への書簡を国連のグローバルコミュニケーション局アウトリーチ部 ヴィンチェンツォ・プグリエーゼ チーフに手渡した後に、国連本部会議場で「UNIS（国連インターナショナルスクール）」の各国代表の生徒21名とともにグループワークショップ（WS）を行った。

開会式では一般財団法人ピースコミュニケーション財団の一木広治代表理事が「国連本部にてキッズアンバサダー12名とUNISの皆さんで自分たちの未来を考えるプロジェクトを開催することができた。皆さんと共に世界を繋ぎ地球をより元気にしていく未来に向



元国連大使の星野俊也氏が挨拶（©Masahiro Noguchi）

けたアイデアを通して地球をより良い世界にしていこうための活動にしたい」と語った。

そして「第5回国連を支える世界こども未来会議」で考えられた「学校に行けないこどもたちが学べる場を提供する」「二酸化炭素を排出するものの値段を上げ、再生可能エネルギーで出来たものの値段を下げる」などのアイデアをキッズアンバサダー5名が英語で発表した。

またピースコミュニケーション財団の理事

キッズアンバサダーと各国代表（UNIS）が 国連を支える世界こども未来会議 in NY United Nationsを開催

を務める元国連大使の星野俊也氏が「国連本部の公式な会議室でみなさんは自分たちのアイデアを発表してくれた。これからは大人、そして違う立場にいる人たちがその声に耳を傾けていく番である」などとこどもたちに呼びかけた。

WSでは「平和」と「気候変動」をテーマにディスカッション。NTTが開発したウェルビーイングのために大切なことが書かれた18枚の「わたしたちのウェルビーイングカード」を使い、自分にとって何が大切なのかをグループ内で共有した。最後に各グループが「私たちは毎月、対面またはオンラインミーティングを開催したい」「地球温暖化防止のための行動」「一緒に取り組むための共通の目標を見つける」「私たちの創造力でゴミをおもちゃやアート作品に」といったアイデアを発表した。

最後に国連での感想をキッズアンバサダーに聞くと「貴重な経験をできてうれしい、UNISの子と交流をしているいろいろなことを学べた」「しっかり自分の意見をみんなに伝えることができた。イベントに参加しないと関われない友情ができた」などと語った。

また今回のイベントにあたっては小池百合子 東京都知事がビデオメッセージで「皆さん、こんにちは。東京都知事の小池百合子です。昨年に引き続き、12名のキッズアンバサダーが『TOKYO 2025 キッズ宣言』を国連本部に届けます。この宣言は、今年3月に東京で開催された『国連を支える世界こども未来会議』で、世界中から集まったこどもたちが、SDGsが掲げる『平和』と『気候変動』の2つのテーマについて活発に議論し、まとめたものです。都もこれからの社会を考える上で貴重な気付きを与えてくれる“こどもとの対話”を通じて、政策をバージョンアップしています。皆さん、世界の未来と一緒に考え、持続可能な社会の実現に取り組んでいきましょう。ありがとうございました」、また岩屋毅外務大臣も「外務大臣の岩屋毅です。本日、『国連を支える世界こども未来会議～プロジェクトイベント in New York～』が盛



「平和」と「気候変動」をテーマにディスカッション（©Masahiro Noguchi）



国連本部で「国連を支える世界こども未来会議」が開催された（©Masahiro Noguchi）

大に開催されることを大変うれしく思います。日本は国際社会の一員として、気候変動を始めとする地球規模の課題への対応やSDGsの達成に向けて積極的に取り組んでいます。未来の世に豊かな地球を引き継ぐために、国際社会と共に努力を続けていくことが重要です。今年、日本はSDGsの各目標に対する取り組みの状況を確認し、その結果を国連に報告する予定です。この取り組みを通じて、国際社会と共により良い未来を築くために学び合い、協力を深めていきます。これからの社会を担う皆さんには国際社会に対する関心を持ち、自分たちが主役となる世界がどのようになっているかを真剣に考えてもらいたいです。そしてぜひ実際に行動に移してください。今日の会議が多くの人々に行動



小池東京都知事がビデオメッセージ（©Masahiro Noguchi）

を促すきっかけとなることを心より願っています。御清聴ありがとうございました」とメッセージを寄せた。

【主催】一般財団法人ピースコミュニケーション財団
【共催】UNIS (United Nations International School) / 国連日本政府代表部
【協力】NTT株式会社 / 株式会社マイナビ / 野村ホールディングス株式会社 / 森永製菓株式会社 / 早稲田大学グローバル科学知融合研究所
【後援】外務省



名称 一般財団法人 ピースコミュニケーション財団

設立 2022年8月17日

目的 2020東京オリンピック・パラリンピック公認プログラムとしてスタートし、2020年以降の日本を活性化させるBEYOND 2020 NEXT FORUM(内閣府認証事業)から創出された、コミュニケーションによる社会課題の解決を次世代人材育成と共に取り組むプロジェクト。
次世代の「未来のかたち」となる2030年に向けた、SDGsのテーマの課題解決にも取り組み、次世代の主役となる子どもたちの意見を取り入れる。産・官・学・言(メディア)が連携したアクション&オピニオンネットワークプロジェクトの継続活動を目的に設立。

活動内容 1. 国連を支える世界子ども未来会議の企画・運営・実施
2. SDGsピースコミュニケーションに関連するフォーラム・イベントの開催
3. SDGsピースコミュニケーションをテーマに次世代エンターテインメントの創出
4. SDGs学習カリキュラムの開発と各自治体を中心とする学習カリキュラムの実施
5. 地球環境大賞と連携した高校生対象のSDGsアイデアコンテストの企画・実施
6. 2001年に文部科学省・こども夢基金事業としてスタートし、子どもたちに夢を与える夢の課外授業(二十一世紀倶楽部)と連携した活動。SDGsピースコミュニケーションWebサイト、SDGsメディアコンパクト各社による広報発信。

発起人 一木広治 (株式会社ヘッドライン代表取締役社長)
中山泰秀 (元防衛副大臣兼内閣府副大臣)
MIYAVI (アーティスト)
EXILE USA (パフォーマー)
星野俊也 (国連監査官/元国際連合日本政府代表部大使/大阪大学大学院教授)
河村康宏 (株式会社フロンティアインターナショナル代表取締役社長)
飯塚基弘 (株式会社ジャパンエフエムネットワーク取締役)

星野俊也 (国連監査官/元国際連合日本政府代表部大使/大阪大学大学院教授)
市瀬豊和 (株式会社山櫻代表取締役社長)
工藤公康 (福岡ソフトバンクホークス元監督)
竹村真紀子 (SMALL WORLDS TOKYO 館長)
所千晴 (早稲田大学理工学術員教授/日本学術会議会員)
矢嶋聡子 (株式会社コア・エス代表取締役/国土交通省観光庁Visit Japan大使)
井上龍子 (弁護士/元イタリア日本国大使館公使/元農林水産省水産技術会議事務局総務官)
中島さち子 (音楽家/数学教育者/株式会社steAm 代表取締役社長)
伊藤明子 (株式会社まち・ひと・しごと研究所代表取締役/元消費者庁長官)

評議員

別所哲也 (株式会社バシフィックボイス・同ビジュアルボイス代表取締役社長)
堀潤 (ジャーナリスト)
横澤大輔 (株式会社ドワンゴ専務取締役CCO)
中川悠介 (アソビシステム株式会社代表取締役社長)
柏倉美保子 (ビル&メリンダ・ゲイツ財団日本常駐代表)
寺尾聖一郎 (二十一世紀倶楽部事務局次長)
若林理紗 (株式会社オウルズコンサルティンググループ)
平原依文 (IH合同会社代表)
藤原康輔 (株式会社ジャパンエフエムネットワーク取締役)
軽部政治 (株式会社オレンジ・アンド・パートナーズ副社長)
喜多望裕明 (Kカンパニー株式会社代表取締役社長)
佐々木広行 (株式会社プロラボホールディングス代表取締役会長)
河本扶美子 (株式会社ファーストブランドCEO)
古井貴 (株式会社フロンティアインターナショナル常務取締役/株式会社フロンティアダイレクト代表取締役社長)
阿部広太郎 (株式会社電通 コピーライター)
一木美里 (株式会社CiEI CEO)
黒谷友香 (女優)
根木慎志 (元車椅子バスケットボール日本代表キャプテン)
新井義浩 (株式会社LDH JAPAN 部長)
青山有亜 (一般社団法人日本国際広報戦略機構代表理事)
松本真尚 (株式会社WIL 共同創業者)

理事
代表理事 一木広治 (株式会社ヘッドライン代表取締役社長/早稲田大学大学院客員教授/大阪大学ESGインテグレーション研究教育センター招へい教授)
副代表理事 河村康宏 (株式会社フロンティアインターナショナル代表取締役社長)
飯塚基弘 (株式会社ジャパンエフエムネットワーク取締役)
福井康夫 (株式会社インパクトホールディングスファウンダー顧問)
武藤伸樹 (株式会社産経新聞社デジタルビジネス本部BizDev 担当上級専門委員 BizDev 統括局長)
渡辺俊太郎 (株式会社JPF 代表取締役/翼法律事務所弁護士)
廣末紀之 (株式会社ビットバンク代表取締役CEO)
朝日透 (早稲田大学理工学術院教授)
鈴木寛 (東京大学教授/慶應義塾大学特任教授)
中山泰秀 (元防衛副大臣兼内閣府副大臣)
山野幹夫 (株式会社ヤマノビューティメイトグループ代表取締役社長)
森雅貴 (株式会社LDH JAPAN 取締役COO)

日本から世界へ発信するコミュニケーションによる社会課題解決に向けたプロジェクト

SDGs ピースコミュニケーション project



東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーを活かし2020年以降の日本の活性化を目的とするBEYOND 2020 NEXT FORUM(内閣府認定事業)は、5つのテーマを掲げて2019年2月から活動を展開してきました。その中で「次世代人材育成」というテーマからピースコミュニケーションという考え方が提起され、外務省の後援も加わり、外務省、国際連合及び各機関、各国大使館とも連携し、次世代のこどもたちのために未来の課題であるSDGsのテーマをコミュニケーションによって解決するアクション&オピニオン協働プロジェクト(産・官・学・言)としての取り組みをスタートしました。

そして、活動を継続すべく2022年8月に一般財団法人ピースコミュニケーション財団を設立しました。「国連を支える世界子ども未来会議—The Children's Conference of the Future in Support of the United Nations—」は、2023年2月、NY国連本部から認定タイトルとして承認を受け、世界のアルファ世代と未来を考えるプロジェクトとして、国内・世界に広がっています。

一般財団法人ピースコミュニケーション財団代表理事
BEYOND 2020 代表幹事・二十一世紀倶楽部理事
一木広治



未来のこどもたちのために、今私たちができることを

Our Mission

ピースコミュニケーションとは？

地球温暖化や戦争、数えればきりが無いほど、この世界には未来への課題がたくさんあります。でも、こどもたちのためにコミュニケーションの力を駆使して平和な社会づくりに取り組みたい。そんな想いからSDGsピースコミュニケーションプロジェクトが始まり、継続的活動を目的として2022年8月に一般財団法人ピースコミュニケーション財団を設立しました。

Action

国連本部からタイトル認定を受けた「国連を支える世界子ども未来会議」をはじめとして、多くの自治体やメディアと連携しながら活動領域を拡大しています。

Our Mission

6個のコンテンツをメインとして活動・発信



国連を支える世界子ども未来会議



ピースコミュニケーションFORUM



SDGs アイデアコンテスト



SDGs 次世代エンターテインメント



SDGs 学習カリキュラム



こどもに夢を与える夢の課外授業

賛同パートナー募集中

法人賛同パートナー／年会費20万円

個人賛同パートナー／年会費2万円

事業賛同パートナー／ご相談により決定

「ピースコミュニケーション財団」公式HP
<https://peace-communication.or.jp>

最新の活動内容や情報など詳細をご覧ください。お問い合わせはHPの[CONTACT]よりご連絡ください。

